

2025(令和7)年度 生徒出欠に関する規程

(欠席・欠課・遅刻・早退)

- 1 欠席、欠課、遅刻、早退をしようとする場合、事前、または登校再開後 1 週間以内に所定の届出用紙(欠席届)に必要事項を記入のうえ、以下の順で提出する。
- 2 15分を超える遅刻・早退は、それぞれ欠課として扱う。
生徒 → ホーム担任 → 教科担任 → ホーム担任 → 教務部

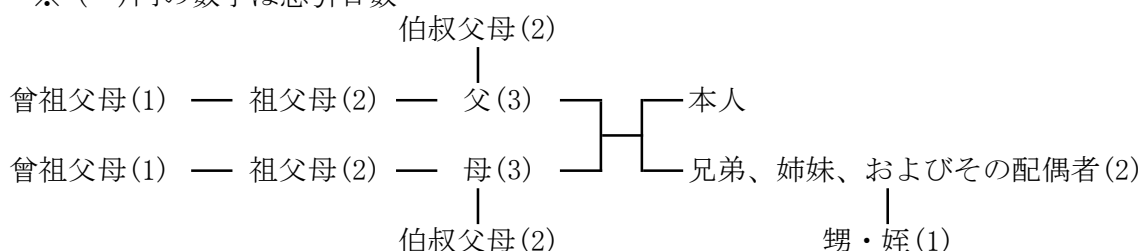
(公 欠)

- 3 下記の事項で、所定の届出用紙(公欠届)に必要事項を記入の上、以下の順で所定の手続きを終えたものについては、当該時間の授業に出席したものとして取り扱う。
 - (1) 特別活動等で、学校を代表して校外に派遣される場合
 - (2) 進学、就職のための受験等の場合
 - (3) その他校長の認めた場合
生徒 → 指導教員 → ホーム担任 → 教務部
(事後の場合)
生徒 → 指導教員 → 教科担任 → ホーム担任 → 教務部

(忌引・出席停止)

- 4 次の場合は、事前、または登校 1 週間以内に所定の届出用紙(忌引届、出席停止届)に必要事項を記入の上、以下の順で所定の手続きを終えたものについては、年間出席すべき日数より除き、欠席等の扱いはしない。
 - (1) 忌引
親族の喪に服するときは、次の日数の範囲で忌引扱いを受けることができる。

※ ()内の数字は忌引日数



- (2) 学校保健安全法(学校感染症)による出校停止
医師により学校保健安全法に定める感染症と診断されたとき、所定の用紙(学校感染症報告書等)を添えて届け出ることにより、定められた期間、出席停止の扱いを受けることができる。
生徒 → ホーム担任 → 教科担任 → ホーム担任 → 教務部

5 考査に関する注意

- (1) 前日までに教室内の物品は整理しておき、考査内容に関係する板書・掲示物はすべて撤去しておくこと。また、机は 5 列に配置する。
- (2) 考査当日、机の中・横は空にしたうえで、教科書、カバン、机の中のものを、全て教室の前か後ろに置くこと。
- (3) 出席番号順に着席すること。(チャイムが鳴りはじめるまでに着席し、開始を待つ)
- (4) 筆記用具は事前に十分に用意しておくこと。(筆箱・下敷きの使用、消しゴムの貸し借りは禁止)
- (5) ① 問題用紙は裏返しに配布し、監督の先生による開始の合図で始める。
② 終わりのチャイムで鉛筆を置き、答案用紙を裏返しにして机の上に置く。
③ 監督の先生の合図で、一番後ろの人が回収する。
- (6) 不正行為はもちろん、不正行為と疑われるような行為も絶対にしないこと。(スマートウォッチなど液晶表示のある腕時計は外して鞆に入れておくこと)

不正行為をした場合は、該当考查科目の得点は、0点となる。

- (7) やむを得ない事情で考查を受験できない場合は、必ず事前に保護者から担任へ連絡するとともに、登校後速やかに所定の欠席届(考查欠席届)を、その理由に応じた書類とともに提出すること。
- (8) 当日の朝、咳等の体調不良で別室受験を希望する場合は、必ず8時20分までに担任に申し出て許可を受けること。
- (9) 考查に遅刻した場合は直接教室には入れません。事前に職員室へ行き、教務部の先生より考查入室届を受け取り、教室へ入ること。また、病気以外の途中退室は認めない。
- (10) 考查中に、体調不良のため考查を継続できなくなった場合、トイレを我慢できなくなった場合には、監督の先生に申し出て指示に従うこと。
- (11) 考查終了のチャイムが鳴るまでは最善をつくすこと。

6 事故、災害、交通スト等により公共交通機関が不通となった場合の措置について

- (1) 午前7時現在で、列車・バスが共にストップしている場合は、臨時休校とする。
- (2) いずれか一方が動いている場合は、無理のない範囲で登校する。この場合の登校可能な生徒の基準は次の通り。
 - ア 徒歩通学の生徒(安全な経路で)
 - イ 自転車通学の生徒(安全な経路で)
 - ウ 通常の通学手段である公共交通機関が不通でない生徒
 - エ 代替公共交通機関で登校可能な生徒(安全な方法・経路で)
- (3) (2)において登校できない場合、原則保護者から学校に連絡し、自宅学習とする。この場合、事情を確認の上公欠とする。

7 「特別警報・警報」が発令された場合の措置

- (1) 午前6時30分現在で、「但馬北部」または「但馬南部」の3市2町(「豊岡市」「養父市」「朝来市」「香美町」「新温泉町」)のどこかに特別警報、暴風警報、大雨警報、洪水警報、大雪警報、暴風雪警報(波浪警報、高潮警報は除く)が発令されている場合は臨時休校とする。
- (2) 午前6時30分以降、始業時まで(1)の「警報」が発令された場合、その時点で臨時休校とする。
- (3) 始業時以降に(1)の「警報」が発令された場合、交通機関の状況を考慮しながら臨時休校とする。

(注) ・ 通常の通学手段としての公共交通機関の不通(災害・スト)に対し、事前に代替の公共交通機関・経路を確認しておくこと。寮生の帰寮の手段についても同様である。

- ・ 特別警報・警報の発令や公共交通機関の不通が予想される場合は、テレビ・ラジオ・インターネット等の気象情報やニュースに注意する。
- ・ 判断が困難な場合は、学校又は担任に連絡する。
- ・ ただし、校外実習時の警報・公共交通機関不通への対応は、各科の指示に従う。

日高高等学校 TEL 0796 (42) 1133